



西岡 かなこ (日本共産党) の 3 月町議会 報告

保育所 民間委託 改めて検討を

日高町公立保育所の運営を、民間に委託したいという方針が町長から示されました。最大の理由は「保育士の確保」といっています。

日高町では長く保育所正規職員の採用をしてこなかったため、臨時職員の人の割合が8割を超えるという状況になっています。子どもと保護者が安心できる保育所、また職員が働きがいのある保育所の運営がどうあるべきかを真剣に検討すべきではないでしょうか。



町会議員選挙後、最初の定例議会がおこなわれ、6人が一般質問をおこないました。

また、新年度予算、水道・下水道料金に消費税増税を見込むなどの条例改定、保育所の運営を民間委託できるとする条例改定などが決まりました。

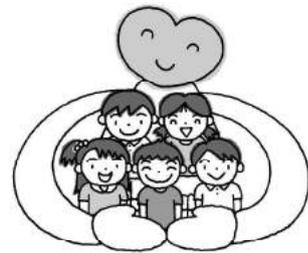
2月におこなわれた議会構成で、西岡佳奈子は、議会運営委員会委員長、総務福祉常任委員会委員をつとめることが決まりました。また、御坊広域行政事務組合議会議員に選出されました。

保育所運営 どう考える

西岡 保育所運営、保育の充実についての考え方は。

町長 就学前の子育て支援で最も重要となるのが保育所です。保育内容の充実を図るためには安定した保育所運営が必要で、その意味で保育士の確保は重要であり、民間事業者への委託を可能とする条例

を提出しました。運営のみを民間に委託し、保育所自体は町が管理することに変わりはありません。



なぜ保育士の 確保ができない

西岡 なぜ公営であれば保育士の確保ができるのですか。

町長 公募しても来ていただく方が限られていきます。民間で保育所を運営されているところであれば確保していただきやすいということがあり、そういう保育所をみつけていくことが大事だということ、条例提案をさせていただきました。

でも給料が上がらない、今年度やっとボーナスが出るようになりませんが、ボーナスもでない、退職金もないというような公募では、応募してくる人が限られるのは当たり前の話だと思います。

なぜ、正規保育士を募集しないのですか。

町長 臨時職員を全て正職員にすることができず、臨時職員が多くなってきた中で正職員を雇ってきませんでした。「できるところは民間へ」という考え方もあり、雇わなかったという面もありました。

町長 2020年度をめどに取り組んでいきたいと思っています。

西岡 保護者への説明はどう考えていますか。

町長 新年度に入って早い段階で説明していきたいと考えています。

西岡 学校統合の時には、

保護者説明会、地域説明会、アンケート等々の取り組みをされたが、そういうことは考えていないのですか。

町長 まず、保護者の方に説明していきたいと思っています。

西岡 1年後をめどにと、いうのはあまりにも丁寧さにかかけます。

議会常任委員会でも、町長の説明などを受けましたが、それで良いという結論は出ていません。そのことをわかった上での今回の条例提案は、議会を軽んじているのではないかと考えてなりません。

1年後めどは あまりにも拙速



西岡 時期はどう考えていますか。

(裏面へ)



委託する方が
高くなる

西岡 委託することによ
る町の財政への影響は。

町長 委託先へのマーシ
ンなどで、少し高くな
っています。

西岡 印南町では、公定

価格に加えて3300
万円を上乗せしていま
す。少し高くなるのか、
どの程度高くなるのか
はわからないと思いま
す。大きな課題です。



保育内容に

責任をもちきれない

西岡 委託後に、保護者
が問題解決を役場へ申
し出た場合、どのよう
な対応になりますか。

学童保育の待機児童 新年度41名 早急に改善を

西岡 学童保育への新年度の申し込み状況は。

教育長 第1学童保育所で90名の申請、内61名を受け入れ、第2学童保育所で53名の申請、内41名を受け入れます。子どもの居場所づくり事業、放課後子ども教室の充実に取り組んでまいります。

西岡 切実さを理解されていないのではないのでしょうか。二つの事業で学童保育に変わりうる状態に持っていかれるとお考えですか。

教育長 時間、内容について、2018年度よりも充実させていきたいと考えています。

西岡 ふれあいセンターなど、学童保育の場所を確保し、夏休みにむけて取り組みを進めていただきたい。

町長 事業者に連絡をして対策を講じてもらうということになります。

役場から保育士さんに直接話をするとはできません。

西岡 町長は、町が管理

するので何も変わらな
いと言われますが、委
託をするということば、
保育の中身に入ってい
けないという問題点を
抱えることとなります。

保育所の運営は、専門性、継続性、安定性が求められます。本来、公立の保育所は新人からベテランまで安定的に職員の配置ができるのが強みのはずですが、現状はそうなっていません。
委託が本当に良いことなのか改めて検討を求めます。



児童虐待防止

日高町の取り組みは

全国で幼い生命が奪われる虐待死が相次いでいます。児童相談所での相談対応件数は2017年度13万3千件を超え、5年前と比べて倍増。虐待死の可能性のある子どもは、厚労省の発表では年間80人、日本小児科学会の推計では350人にも上ります。

日高町を管轄する児童相談所は和歌山市にあります。身近で相談できる行政機関として日高町役場の果たすべき役割は重要です。

相談支援体制の充実を

西岡

児童虐待防止について当町の取り組みは。

町長 早期発見・適切な保護を図るための情報交換、支援内容の協議

西岡 「子ども家庭総合支援拠点」整備や未就

園児等全戸訪問事業など必要だと思いますが。

町長 重要な取り組みであり、検討して参ります。

健康推進課長 3歳児までは、健診や未受診者へ

家庭訪問などで把握できています。

西岡 健診と共に訪問も

大事だと思えます。人の配置も含めて取り組んでいただきたい。

西岡 新年度「子育て世代包括支援センター」が設置されます。これは2016年母子保健法改正によるもので、

町長 住民福祉課、健康

推進課、教育委員会が連携し家庭訪問を検討すると共に、民生委員

からの相談や情報提供が年間数件あり、個々のケースに応じた対応をしています。また、転入による継続支援の事例もあります。



さんや母子保健推進員さんにも見守りなどのご協力をいただき、児童虐待防止に取り組んでいきたいと考えています。